

第 69 回 鎌倉エフエム放送番組審議会議事録

1. 開催年月日 平成 21 年 6 月 21 日 (日) 13 時 30 分～15 時 00 分

2. 開催場所 鎌倉エフエム放送局内

3. 委員出席 委員総数 7 名

出席委員の氏名 児玉 昭義 小島 隆雄 中島 和晃 森 禎子

欠席委員の氏名 久保田 隆治 奥田 友彌 島田 貴司

放送事業者側出席 須藤 一郎 中丸 宗幸

4. 議題

1. 番組編成に関して

2. その他

5. 議事の概要 議題に対する答申

6. 審議の内容

議 長：須藤 一郎

出欠席者の確認をして会議に入った。

次に本日の審議事項の発議を提案。

会社側委員：新番組「PACIFIC SHOWER」が 6 月より放送開始になった。

委 員：鎌倉ベースのトーク番組として楽しい地域の問題に好感が持てる。

委 員：サービスエリアの中心が鎌倉であることに留意した番組作りが望ましい。

会社側委員：JCBA の総会が 5 月 15 日、本年度の第一回理事会が 6 月 18 日、開催された。

総務省のコミュニティ放送に係る規定が整備されることとも関連して今後の JCBA 活動に注目したい。

委 員：番組内容の充実はもとより難聴地区解消などにも取り組んでいただきたい。

会社側委員：増力やサテライトの設置などを含めて有効なサービスエリアの確保を視野に努力したい。

委 員：前回にも申し上げたが鎌倉 FM としては、非常時はもとより平時においても機材の整備をはじめ体力をつける必要がある。

会社側委員：総務省の規定整備を目処に関係各位の支援をも期待して体力増強を实行したい。

委 員：地域のコミュニティメディアとしてソフトウェアをサポートするハードウェアの整備を可能な限り早急に実行すべきである。

会社側委員：情報通信月間のイベントとしてメインテーマは鎌倉駅地下道のパネル展示になりますが、現場からの中継放送、期間中に開催される鎌倉ビーチフェスタやスパイラルカップへの参加と中継放送などを実施します。

委 員：地域への貢献度も高いと思う。中継放送の頻度も多くできれば良いと思う。

会社側委員：パソコンを活用した中継のシステムを計画進行中である。情報通信月間の中継放送には間に合わせたい。

本日はありがとうございました。

7. 審議機関の答申または改善意見に対してとった処置及び年月日 な し

8. 審議機関の答申または意見の概要を公表した場合における公表の内容、方法及び年月日
ホームページにて公開

9. その他の参考事項 な し
以 上